

# 取扱説明書

# TKL-3K~14K

空調配管専用

パイプロック<sup>®</sup> TKL (ろう付けレス)

## お客様へ

- 施工は必ず専門業者へ依頼してください。
- 本取扱説明書は、大切に保管しておいてください。
- ご不明な点は、巻末に記載されている営業窓口へお問い合わせください。

## 施工業者様へ

- 施工前に本取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- 本取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。
- 本取扱説明書は、日本国内においてのみ有効です。

はじめにお読みください(正しく安全に使用いただくために)

**本製品は空調配管専用です。冷蔵・冷凍配管には使用しないでください。**

■表示内容を無視して誤った使い方をした場合に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分しています。

⚠ 注意	取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う可能性があります。
通告	取扱いを誤った場合、物的損害を負う可能性があります。

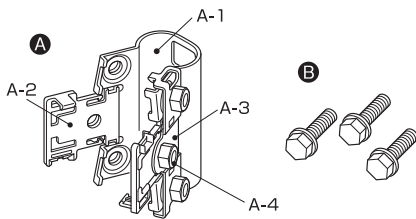
■お使いになる人や他の人へ危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

⚠ 注意	●作業時は必ず作業用手袋・ヘルメットなどを着用してください。
通告	<ul style="list-style-type: none"> <li>●縦引き配管の立上り部・立下り部についてエルボの損傷が考えられる場合は、銅管の熱伸縮を考慮して、伸縮曲管(エキスパンションループ、エキスパンションオフセット)などを用いて施工してください。</li> <li>●取り付けの際は、必ずTKL専用ベース金具を用いて取り付けてください。羽子板ボルトなどは、強度不足のため、使用しないでください。</li> <li>●固定バンドを一度閉じて開くと、変形により、<u>再使用はできません</u>。 銅管と固定バンドのサイズ違いが無いことを、よく確認のうえ施工してください。</li> </ul>

■お願い ※下記が守られなかった場合、製品の想定する機能・性能が発揮されない可能性があります。

- 各階層には、配管支持が必要です。配管自在バンド(型番:HBR)を用いて配管を支持してください。
- 屋外の施工では、紫外線遮断処理を行ってください。保温材が劣化するおそれがあります。

## セット明細／各部名称・仕様

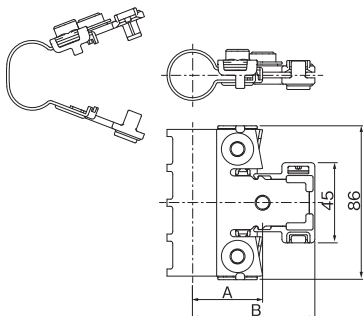


## ■セット内容

記号	名称	材質	数量
A	本体(パイプロックTKL)	SUS304	1
	A-1: 固定バンド×1		
	A-2: スペーサー×2		
	A-3: ナット仮固定板×1		
	A-4: 六角ナットM8×3	SUS	
B	六角ボルト M8×23L	SUS	3
—	取扱説明書	—	1

## 寸法

単位:mm



型番	適合配管サイズ	A	B
TKL-3K	φ 9.52	30	59
TKL-4K	φ12.70	32	61
TKL-5K	φ15.88	34	63
TKL-6K	φ19.05	36	65
TKL-7K	φ22.22	37	66
TKL-8K	φ25.40	39	68
TKL-9K	φ28.58	41	70
TKL-10K	φ31.75	43	72
TKL-11K	φ34.92	44	73
TKL-12K	φ38.10	46	75
TKL-13K	φ41.28	48	77
TKL-14K	φ44.45	49	78

## 1 取り付け位置の決定

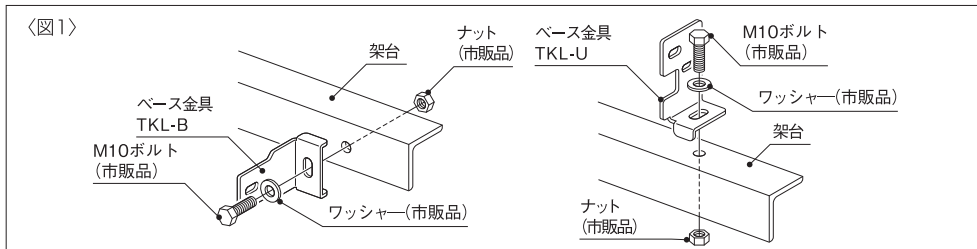
縦引き配管の配管長に対して中央部になるようにパイプブロックの取り付け位置を決定してください。

**通告** 縦引き配管の立上り部・立下り部についてエルボの損傷が考えられる場合は、銅管の熱伸縮を考慮して、伸縮曲管(エキスパンションループ、エキスパンションオフセット)などを用いて施工してください。

## 2 ベース金具の取り付け

TKL専用ベース金具(当社型番:TKL-B、TKL-K、TKL-U)を架台または壁面に取り付けてください。  
〈図1〉

**通告** 取り付けの際は、必ず TKL 専用ベース金具を用いて取り付けてください。  
羽子板ボルトなどは、強度不足のため、使用しないでください。



① 市販のM10ボルト・ナット・ワッシャーを使用してください。(塗装保護のためにも、ワッシャーを使用してください。)

② ベース金具(型番:TKL-B、TKL-U)を取り付ける架台は、縦引き配管の重量を十分考慮して設計してください。

③ 壁直付けベース金具(型番:TKL-K)を使用する場合は、十分強度を持たせた壁面に取り付けてください。

※TKL専用ベース金具(当社型番:TKL-B、TKL-K、TKL-U)の選定は、仕様書(別紙)の「銅管中心位置から架台(壁)までの距離L」を参照してください。

仕様書は  
こちら▶▶

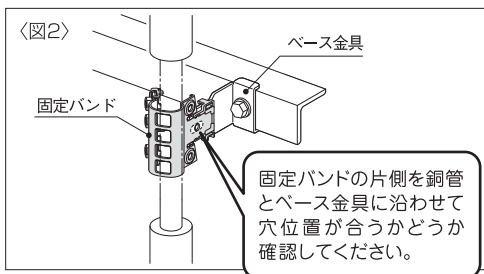


## 3 本体(パイプブロックTKL)の取り付け

**通告** 固定バンドを一度閉じて開くと、変形により銅管の保持ができなくなるため、再使用はできません。  
銅管と固定バンドのサイズ違いが無いことを、よく確認のうえ施工してください。

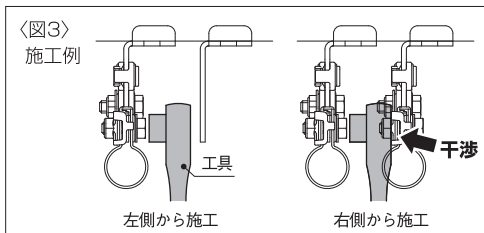
### 1. 施工前の確認事項

(1) 固定バンドとベース金具の穴位置にズレがないか、事前に確認してください。〈図2〉



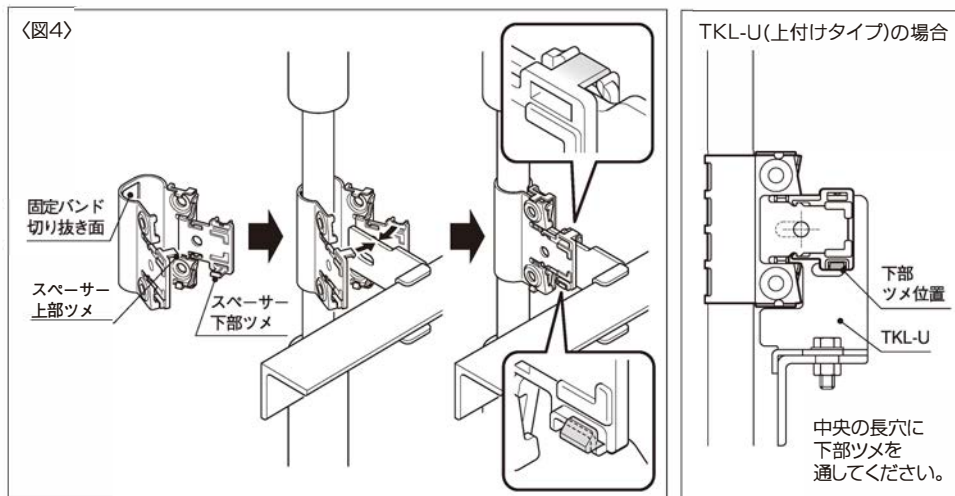
(2) 配管が隣接する場合、工具のサイズを考慮して施工順番を決めてください。  
(順番により工具が干渉する可能性があります。)

〈図3〉

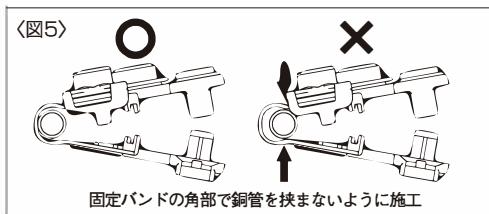


## 2. 固定バンドの仮固定

固定バンドの切り抜き面がある面を銅管に押し当て、固定バンドを閉じます。その際、スペーサー上下にあるツメが反対側のスペーサーを乗り越えるまで閉じて仮固定してください。(図4)



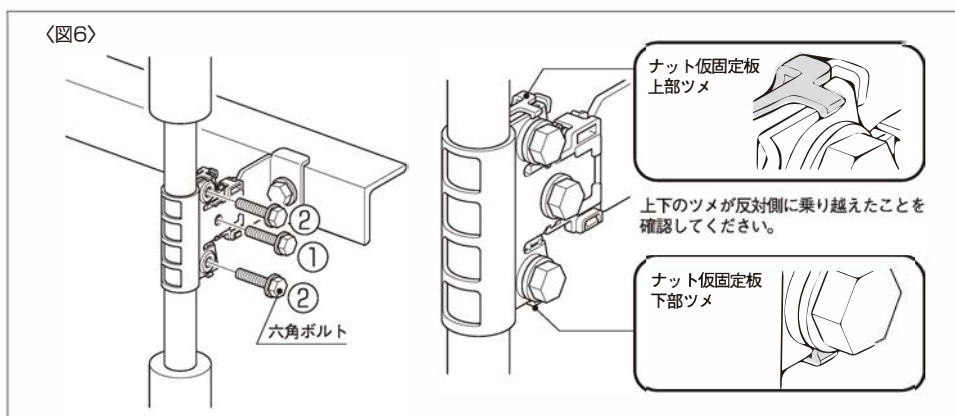
⑩ 閉じる際は、固定バンドの角部で銅管を挟まないように注意してください。(とくに小径サイズの銅管での施工時は注意してください。)(図5)



## 3. ボルトの締め付け

同梱の六角ボルトを中央位置①から締め付けてください。【締め付トルク: 12.5N・m以上】

次に、上下の六角ボルト(②)を、交互に少しずつ締め、ナット仮固定板上下のツメが、反対側に乗り越えるまで締め付けてください。(乗り越えると締め付完了です)(図6)



**ワンポイント** 締め付けの際は、ボルト側を回すと、ナット側より低トルクでの締め付けができます。

#### 4 保温カバーの取り付け(防露処理)

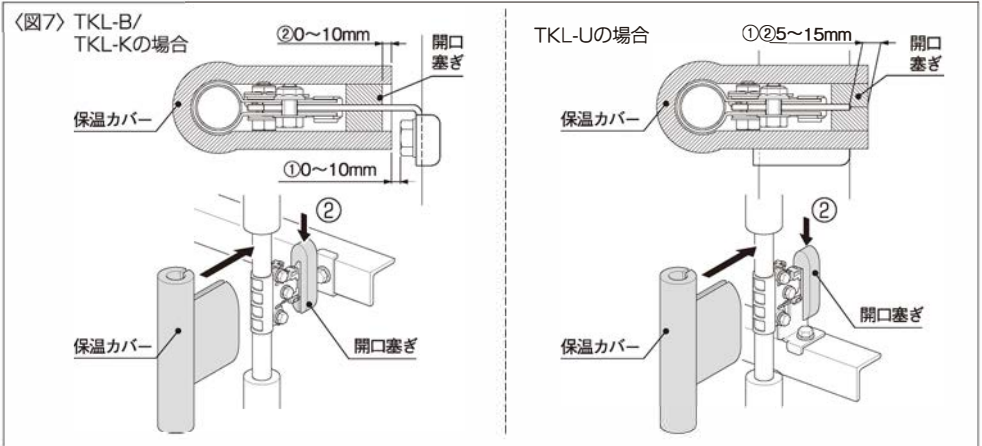
防露処理のため、パイブロックにTKL用保温カバー(当社型番:TKL-SH,TKL-DH)を取り付けてください。

1.〈図7〉を参考に、保温カバーの先端を切断(寸法①)してください。

TKL用保温カバーに同梱されている「開口塞ぎ※」をベース金具に取り付けて(寸法②)から、保温カバーを取り付けてください。

※開口塞ぎは、TKL用保温カバーTKL-6SH/6DH~14SH/14DHに同梱されています。

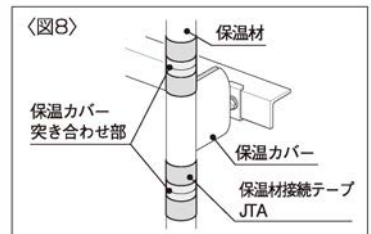
(TKL-3K~5Kには取り付けが不要のため、TKL-3SH/3DH~5SH/5DHは同梱されていません。)



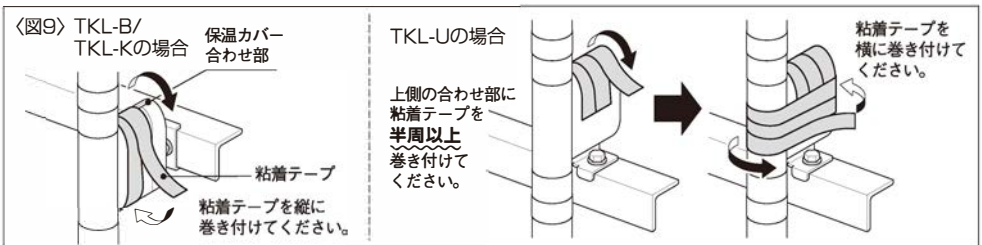
2.保温カバーと配管の保温材との突き合わせ部を、保温材接続テープ(当社型番:JTA)で円周方向に10mm以上オーバーラップするように巻き付けてください。〈図8〉

① 保温材接続テープの張り付け面は、表面のホコリ・汚れなどをきれいに拭き取ってください。

② 保温材接続テープが、保温カバーのT字部に掛かる場合は、テープに生じたシワを手で押さえながら保温材のエンボス(凹凸)にテープが食い込むようにしっかりとなじませてください。



3.ベース金具を覆う保温カバーの合わせ部に対して、開き防止のために粘着テープ(当社型番:HF、HV、HR)を巻き付けてください。〈図9〉



因幡電工カンパニー  
因幡電機産業株式会社

詳しくはウェブサイトをご覧ください

<https://www.inaba-denko.com/> (最新情報や技術資料はこちら)  
<https://www.inaba-denko.com/ja/network> (営業窓口)



INABA DENKO  
動画チャンネルはこちら ▶▶



札幌営業所 ☎(011)209-1784(代) FAX(011)209-1789/ 首都圏3課 ☎(03)5437-7155(代) FAX(03)6778-1938/ 近畿2課 ☎(06)4391-1732(代) FAX(06)7664-9104/ 広域2課(東京) ☎(03)5437-7152(代) FAX(03)6778-1935  
仙台営業所 ☎(022)293-1785(代) FAX(022)293-1802/ 横浜営業所 ☎(045)470-1780(代) FAX(045)470-1798/ 広島営業所 ☎(082)545-1132(代) FAX(082)545-1134/ 東京推進課 ☎(03)5437-7151(代) FAX(03)6778-1934  
関東営業所 ☎(048)642-1783(代) FAX(048)642-1756/ 名古屋営業所 ☎(052)541-1780(代) FAX(052)541-1791/ 九州1課 ☎(092)283-1751(代) FAX(092)282-1787/ 大阪推進課 ☎(06)4391-1941(代) FAX(06)4391-1920  
首都圏1課 ☎(03)5437-7153(代) FAX(03)6778-1936/ 全次営業所 ☎(076)262-1783(代) FAX(076)262-1787/ 九州2課 ☎(092)283-1785(代) FAX(092)282-1787  
首都圏2課 ☎(03)5437-7154(代) FAX(03)6778-1937/ 近畿1課 ☎(06)4391-1940(代) FAX(06)7664-9103/ 広域1課(大阪) ☎(06)4391-1713(代) FAX(06)7664-9105

※商品に関するお問い合わせは、お近くの営業所へお気軽にどうぞ。